令和3年6月議会定例会
会議録

公立岩瀬病院企業団

令和3年6月公立岩瀬病院企業団議会定例会会議録

令和3年6月30日（水曜日） 午後2時00分 開議

議事日程第1号

- 第1 会期の決定
- 第2 会議録署名議員の指名
- 第3 議案第5号 令和3年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計補正予算（第1号）
- 第4 議案第6号 公立岩瀬病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

出席議員（9名）

1番 溝井光夫	2番 荒井裕子	3番 大内康司	4番 鈴木洋二
5番 小山克彦	6番 大和田宏	7番 浜尾一美	8番 渡邊達雄
9番 大河原正雄	10番 石堂正章		

遅参通告議員

欠席議員

説明のため出席した者

企業長	宗形 充	院長	土屋貴男
院長代行	大谷 弘	事務長兼総務課長	塩田 卓
看護部長	伊藤恵美	参事兼医事課長	有賀直明

午後2時00分 開会

○議長（石堂正章君）

皆さん、こんにちは。

ただ今より令和3年6月公立岩瀬病院企業団議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

出席議員は定足数に達しております。

本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。

次に、諸般の報告をいたします。

監査委員から、例月出納検査結果報告書が、提出されております。

印刷の上、お手元に配布いたしておりますので、ご了承願います。

これより、議事に入ります。

日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日一日限りといたしたいと思っております。

これに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（石堂正章君）

ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日一日限りと決しました。

日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、本会議規則第77条の規定により、議長において、7番浜尾一美議員、8番渡邊達雄議員、9番大河原正雄議員を指名いたします。

日程第3、議案第5号から日程第4、議案第6号を一括して議題といたします。

あらかじめ、お願いいたします。説明・質問及び答弁にあたっては、議席で起立のうえ、簡潔明確に発言され、会議の円滑な進行にご協力願います。

それでは提出者から、提案理由の説明を求めます。

○企業長（宗形充君）

本日ここに、公立岩瀬病院企業団議会6月定例会が招集となりましたところ、議員の皆様方には、公私ともに何かとご多用の中、ご参集をいただき誠にありがとうございます。

今期定例会におきましては、ただ今議題となりました議案2件について、ご審議をいただくこととなりますが、提案理由の説明に先立ちまして、前定例会以後の病院事業について、主なものをご報告申し上げます。

初めに、新型コロナウイルス感染症への対応についてご報告申し上げます。

県内においては、第1号の陽性患者が発生した昨年3月から、今月までの16ヶ月間にかけて、連続して感染者が報告されており、その総数は4,800人を超えております。

さらに、今年度に入り新たな陽性者数が、4月に887人、5月には1,180人と、月間の最多発生件数の更新が続き、県においては独自の緊急事態宣言を発出するなど、感染症病床確保対策において、逼迫した状況が続きました。

この間、限られた医療提供体制を有効に活用するため、県内の医療機関が連携して、地域を超えて感染患者対応に当たることが求められ、当院においても可能な限り、県の要請に応えるために、様々な対策を取りながら、感染症に向き合い、対処してきたところであります。

今月に入り、陽性患者の発生数は一定程度の減少傾向にありますが、県中地域においては、連日にわたり感染患者が報告されている状況が続いております。

また、ワクチン接種につきましては、当院では基本型接種機関として、医療従事者などの優先接種対象者に、順次対応してきたところでありますが、来月初旬には医療従事者など、1,063人の優先接種が終了する予定となっております。

高齢者への個別接種につきましても、医療従事者と並行して接種できるように準備を進め、5月24日から接種を開始したところであります。

当院は、第2種感染症病床指定医療機関であり、感染症患者対応などの役割を担いながら、ワクチン接種についても対応してきているところであります。

これまで、電話等による申し込みが多数寄せられたため、さらに予約枠を増加するなどの対策を講じてまいりましたが、国が定める接種完了の目安である7月末までには終了できないため、当院での接種の希望に応えきれない状況となっております。

今後は、基礎疾患をお持ちの方など、65歳未満の一般の方々のワクチン接種の開始に合わせて、さらなる予約枠を設定し、協力して参りたいと考えております。

次に、病院運営の根幹となる医師体制についてであります。

今年4月より、外科医1名、整形外科医1名が増員となり、手術の対応など診療の充実とともに、収益面での寄与が期待されるところであります。

一方退職者は、形成外科医1名が、福島医大の専攻医として離任したほか、年度末になって急きょ、麻酔科医1名が自己都合で当院を去りました。

当面、県立医大の応援をいただきながら対応しているところであります。

また、卒後初期臨床研修医は、当院で2年間研修する1名と、1年次は当院で研修し、2年次は福島医大病院で研修するタスキ掛け研修医を1名受け入れました。研修医は、1年次が2名と、2年次となった3名の合計5名となりました。

これら研修医を加えた常勤医師数は35名体制となっております。

次に、患者さんへのサービス向上に向けた取り組みとして、県内では初となるマイナンバーカードによる診療受付を開始しました。

マイナンバーの使用によって、将来的には、医療費の限度額申請の手続きが不要となるなど、患者さんの負担軽減と利便性の向上が期待されるところであります。

次に、診療域を広げる取り組みとして、形成外科領域の皮膚疾患に対するレーザー治療器1台を導入いたしました。これにより、当院でも、あざやシミなどの治療を行なえるようになり、また、保険適用以外の診療も行えるよう、本日、議案として自由診療に対する料金の設定を提案させていただいており、患者さんのご要望にお応えできるものと期待しております。

次に令和2年度の病院事業会計決算見込みについて申し上げます。

2年度の実績として、入院患者数は62,320人で、前年度比12,415人の減、外来患者数は85,255人で、前年度比6,835人の減となり、それぞれ前年度実績を大きく下回る結果となりました。

どちらも新型コロナウイルス感染症の影響などにより、患者数が減少したものとみられ、入院収益の決算見込額は30億2,846万円余となり、前年度との比較では、4億798万円ほどの減となりました。

外来収益決算見込額は12億1,534万円余となり、前年度との比較では1,979万円余の減となっております。

この結果、医業収益の合計額は、対前年度比4億6,855万円余の減となる51億3,223万円余となったところです。

一方で、医業費用決算見込額は、給与費、材料費、経費等の増額があり、前年度

比9, 784万円余の増となる59億5, 464万円余となり、医業損益段階で8億2, 240万円余の損失計上となりました。

医業外損益では2億8, 094万円余の収益を見込んでおり、これを加えた経常損益段階では5億4, 146万円余の損失となり、こちらもこれまでにない大幅な損失計上となる見込みです。

なお、今期決算では、感染症対応の空床保障の補助金などを特別利益として計上する予定であり、最終の年度純損益では、利益を確保できる見通しとなりました。

今後、公認会計士の意見を伺った上で、監査委員による監査を経て、企業団議会9月定例会に提出することとしております。

新型コロナウイルス感染症の影響のため、今年度の病院運営も引き続き厳しいものとなりますが、補助金の支援なども活用し、職員一丸となってこの難局に対峙し、地域医療の中で中核病院としての役割を果たして参りたいと考えております。

以上、病院運営の当面の課題及び提案理由の一部をご説明申し上げましたが、今期定例会には、単行議案2件を提案しております。

提出議案に係る提案理由につきましては、事務長から説明申し上げますので、慎重にご審議のうえ、速やかに議決を賜りますようお願い申し上げます。

○事務長（塩田卓君）

只今議案となっております、議案第5号及び、議案第6号について、提案理由をご説明いたします。

まず、議案第5号は、令和3年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計補正予算第1号であります。

こちらは、福島県新型コロナウイルス感染症対応看護教育等環境整備事業補助金に係る補正となっております。

本院附属高等看護学院の看護学生等の集団感染を防ぐため、感染防止に資する環境整備のための費用が、補助金の対象となるものです。

議案第5号、第2条のとおり、令和3年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものです。

まず、収入の項目、第1款、病院事業収益、第2項、医業外収益と、費用の項目、第1款、病院事業費用、第2項、医業外費用を補正予定額として記載のとおり、147万4千円をそれぞれ補正増額するものです。

収益的収入及び支出の表がございますので、こちらをご覧ください。

まず、上段の表、収入の項目では、1款、病院事業収益、2項、医業外収益、4目、高等看護学院収益の、既決予定額2,506万円を、補正予定額、147万4千円、備考の欄にありますように補助金収入分を増額し、2,653万4千円とするものです。

下段の表、支出の項目では、1款、病院事業費用、2項、医業外費用、4目、高等看護学院費1億1,417万8千円を、補正予定額147万4千円、こちらは収入の補正予定額と同額となりますが、これを増額し、1億1,565万2千円とするもので、補助金収入をもって、感染対策の備品及び消耗品の購入費に充てるものでございます。

次に、議案第6号、「公立岩瀬病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」であります。新型コロナウイルス感染症 抗体検査（ワクチン抗体測定）の料金及び、形成外科領域のシミ取りレーザー治療についての料金を新たに規定するものです。

新たな抗体検査及びレーザー治療の一部は、診療報酬制度の保険適用外となっており、サービス利用者の自己負担となりますので、その料金を条例で定める必要があり、本議会にお諮りするものでございます。

改正の箇所につきましては、議案第6号裏面の新旧対照表をご覧ください。

1項目目は、6検診検査料の（12）項目目の次に、新たに（13）として、新型コロナウイルス抗体検査（ワクチン抗体測定）を加えるもので、金額を5,500円と定めるものです。

これまで、実施してまいりました、新型コロナウイルス感染症抗体検査につきましては、市中感染などで、過去に新型コロナウイルス感染症に感染した方を、N-タンパク質に対する抗体を測定することで検出していましたが、ワクチンの接種によって獲得するS-タンパク質に対する抗体は、測定できないものでした。

今回、新たに設定する抗体検査は、現在、国内で薬事承認されている全てのワクチンの接種によって獲得する抗体についての測定が可能となっており、ワクチン接種後の検査について、要望等に応えられるようにするため、新たに料金を定めるものです。

次に、2項目目ではありますが、9形成外科自由診療等に、新たにシミ取りレーザ

一治療を加え、1平方センチメートル当たりの料金を11,000円と定めるものです。

今般、レーザー治療機を導入し、主に形成外科診療において、診療報酬制度により保険請求できる疾患に対する治療を開始するところですが、希望者に対して自由診療において、シミ取りの治療に対応できるように、料金を設定するものです。

なお、自由診療としては、皮膚の表層面に近い表在性色素疾患として、そばかすや、老人性色素斑などのシミ、脂漏性角化症などの治療に有効とされているところではあります。

どちらも令和3年7月1日から施行できるように改正するものです。

以上、議案第5号及び議案第6号の議案2件について、提案理由を説明させていただきました。よろしくご審議の程、お願い申し上げます。

○議長（石堂正章君）

これより、議案第5号「令和3年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計補正予算（第1号）」の質疑に入ります。

質疑ありませんか。

1 番溝井議員。

○議員（溝井光夫君）

補助金収入をもって、感染対策の備品及び消耗品を購入するということでしたが、その詳細について伺いたい。

○議長（石堂正章君）

ただ今の1番溝井議員の質疑に対し、当局の答弁を求めます。

事務長。

○事務長（塩田卓君）

備品費としては、遠隔教育環境整備事業として使用するための65インチ昇降スタンド付き電子黒板2台と、書画カメラ2台の購入を予定しております。また、消耗品費としては、実習時感染症予防対策として使用するためのペーパータオルや携帯型手指消毒剤などの購入を予定しております。

○議長（石堂正章君）

他に質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（石堂正章君）

質疑なしと認めます。

これにて、質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

これにて、討論を終結いたします。

○議長（石堂正章君）

これより、議案第5号「令和3年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計補正予算（第1号）」について採決いたします。

お諮りいたします。

本案については、原案のとおり決することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（石堂正章君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

○議長（石堂正章君）

次に、議案第6号「公立岩瀬病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」についての質疑に入ります。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（石堂正章君）

質疑なしと認めます。

これにて、質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

これにて、討論を終結いたします。

○議長（石堂正章君）

これより、議案第6号「公立岩瀬病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」について採決いたします。

お諮りいたします。

本案については、原案のとおり決することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（石堂正章君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

これをもちまして、令和3年6月公立岩瀬病院企業団議会定例会を閉会いたします。

ご苦労様でした。